



さかた よしお
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 豊山グラウンドの抽選は

A. 無作為の自動抽選で 公平性を確保

指摘を受け、確認・見直しをお願いする。

社会教育センター所管施設の予約は、令和4年4月から利便性向上の為に、予約方法が変更された。以後、3年近くが経過。

豊山グラウンドの使用予約要件については、登録団体の人数が在住在勤10人以上が絶対である、との事。これを満たせば使用申し込み重複時において、相手団体が30人であれば50人であれ、対等の立場で午前・午後・夜間との使用区分抽選に立てると。また抽選手立ては、コンピューターシステム（電子的）に於いて深夜自動的になされると聞いている。

然し乍ら、抽選とは一切の疑念払拭の為、公開・アナログ（物理的）が望ましいと考える。

従前より、現在においても「宝くじ」の抽選結果に疑念を持つ方はいない。ここで尋ねる。

Q 10人に満たない団体でも利用できる「グラウンド」はどこがあるか。何つ。

A 教育委員会事務局

屋外運動施設の利用を希望される10人に満たない団体の皆様には、「伊勢山スポーツ広場」や学校教育に支障のない範囲で地域住民の皆様が開放している「町内小中学校の運動場」をご案内しております。

Q 利便性向上とは言え、疑念を抱かれるのは行政として得策ではない。目視確認を現実とする為、公開・アナログをもとめる。

A 教育委員会事務局

社会教育センター所管施設の予約は、多数のお申込みをいただいた場合、コンピューターによる抽選を行っています。

コンピューター導入前は、先着順で受付を行っていたため、長時間窓口に並ぶ必要があり、利用者の中には、お仕事を休んで並ばれている方も

見えました。導入後は、来館せずに申し込みができるため、利用者の利便性を向上することができました。

導入したコンピューターによる抽選は、多くの自治体に導入されている信頼性の高い施設予約システムであります。

完全無作為の自動抽選により、公平性を確保しております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。



豊山グラウンドの抽選は